



# ぐんま集排だより



天引地区処理施設全景(J-XI型)

## 処理施設を訪ねて

甘楽町天引地区農業集落排水組合長

古館 喜代志

天引地区について教えてください。

本地区は、甘楽町の最東部に位置し、一級河川天引川の主に西側沿いに形成する天引上、天引下の2集落からなり、河川に沿って2%程の勾配で北に向かって傾斜しています。北部を上信越自動車道が東西に貫き、南北に縦貫する県道に連担した帯状の散居集落で、自然豊かな農村地域です。

地区内の農地は、一次構により圃場整備を完了し、基幹作物である水稲、コンニャク、キウイの栽培が盛んに行われています。一方、高崎市等への通勤通学圏内のため、近年宅地化が進行しています。

事業への取り組みについて教えてください。

近年の宅地化や生活様式の高度化に伴い、生活雑排水による農業用水等の水質汚濁が進行した為、水質保全・生活環境の改善を目的とし、甘楽町で2地区目となる天引地区を、平成6年度から、計画戸数250戸、計画人口1250人、総事業費約14億6千万円で平成11年度に事業完了しました。処理方式は、回分式(協会型)を採用し、建物は瓦葺き屋根とし周辺環境に調和するよう努めました。

今後の課題等についてお聞かせ下さい。

甘楽町は、環境整備の中核をなす下水道事業を公共下水道及び農集排を中心に推進し、農集排の計画は4地区あり、現在は2地区が供用開始し、1地区を整備中であります。

農集排は、公共下水道と違い、接続期間に法的拘束がなく、早期の供用率の向上が難しいと言われています。本地区も平成10年12月に供用開始し、4年が経過しましたが、供用率が60%と今ひとつの状況にあります。

今後は、供用率100%の早期達成を目標とした啓蒙活動を引き続き展開すること、適切な維持管理を行い、地域の大切な施設として未永く利用できるよう努めたいと考えております。



城南上野地区全景(J-III型)



# 農業集落排水処理施設の維持管理について

農業集落排水処理施設は、浄化槽法による浄化槽に該当します。浄化槽法では、浄化槽である処理施設の設置者に対して、次の三つの適正な維持管理を義務づけています。

一つ目が処理施設の保守点検です。これは、処理施設の運転状況及び放流水の水質等を調べて、異常や故障を早期に発見するために行う作業で、知事の登録を受けている保守点検業者に委託して実施することが必要です。

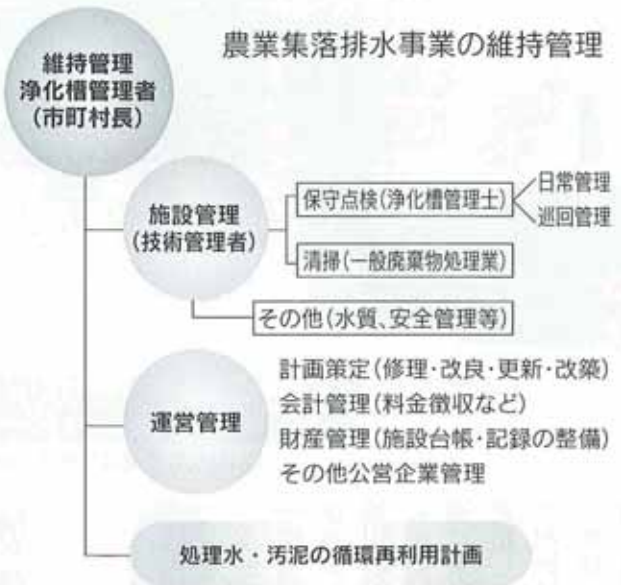
二つ目が処理施設の清掃です。これは、放流水の水質が悪くならないように、処理施設にたまっていく汚泥やスラム等を引き出す作業で、毎年一回以上、地元の市町村長の許可を受けている清掃業者に委託して実施することが必要です。

三つ目が、法定検査の受検です。法定検査には、7条検査と11条検査があります。7条検査は、処理施設の使用開始後、6ヶ月から8ヶ月の間に処理

施設が適正に設計・施工され、所定の機能を発揮しているかを確認する検査です。11条検査は、処理施設の外觀検査、放流水のBOD等の水質検査及び維持管理に関する書類検査を行い、その後の処理施設の保守点検や清掃が適正に行われているかを確認するための検査です。どちらの検査も、知事の指定を受けた(財)群馬県環境検査事業団だけが行うこ

とができ、受検することが必要です。また、規模の大きい50人槽以上の処理施設については、保守点検及び清掃に関する技術上の業務を担当させるために有資格者の技術管理者を選任することが必要です。最後に、処理施設はこれらの維持管理を適正に行わないとし尿や生活排水が十分に処理されません。きれいな河川を維持するため、適正な維持管理を行って、きれいな水を河川に放流するようにいたしましょう。

農業集落排水事業の維持管理は、広くは施設の運営管理も含めて次のように分類されます。



## 平成14年度農業集落排水事業に関する絵画コンクール表彰式開催

平成14年度農業集落排水事業に関する絵画コンクール表彰式が、平成14年10月19日(土)、県庁昭和庁舎の正庁の間で開催されました。表彰式には、受賞者の父兄や先生、役場の担当者はじめ多数の来賓を迎え、一般の人も含め約70名が出席し盛大に開催されました。当日、県庁では第10回収穫感謝祭が行われ「ぐんまの農業農村整備」のコーナーに各賞を受賞した作品が展示されました。





排水事業は生活環境の基礎

高崎市農林水産課 中曾根 恵子

私が農村地帯のこの地に嫁いだ頃は、便所は家の外にあり、隣りに「クマメ」と推助が山となっていました。もちろんハエや蚊の巣となってハエが群がっていました。水道がないので井戸水を利用したり、子供のオシメなどは川で洗っていました。現在の滅菌、抗菌とさわく生活からは考えられません。その後家の新築と同時に浄化槽となりましたが点検やくみ取り、臭気はどつにもならず一日も早く水洗を待ち望んでいました。生活雑排水も田植時以外はほとんど水の流れない用水路に流れる様になっていたので臭気に悩まされました。

平成9年農集排水事業により長年の夢だった水洗となりました。私は常に「始めより終わり」を入れるより出す「事」が大切と思っています。ですが、農集排水事業というのは生活環境の基を整備することも重要な事であると思っています。

現在長野地区北部水処理セ

ンターには区民や役員が交代で草むしりや清掃をしています。施設を大切に守り、私達の日常生活の中で、油よ、これはふき取ってから洗ったり、環境にやさしい洗剤を使う等一人一人の心がけが大切だと思います。農業集排水事業の目的である生活環境の改善と地域農業の活性化の中で農集排水汚泥の活用等はとも興味のある問題です。

「蘇る清流」

長野県高崎市農集排水事業推進委員会 委員長 福島 辰郎

「蘇る清流」と刻まれた町長揮毫による建設記念碑が処理場に据えられてあります。この農業集排水処理施設は、善地地区農業集排水処理場と称し、榛名山南麓にあり、梅が特産の豊かな自然に恵まれた箕郷町大字善地地内の車川と浦川との間の敷地に建設されました。この事業(農村下水道)は、平成4年度に着工し、平成8年7月に完成、供用開始となりました。

この処理場が建設されたあ



陰で、下水道完備の清潔な生活が営まれるようになり、農村の生活環境が大幅に改善されました。悩みは、各加入が予定より遅れていることあります。当初の加入申請戸数は200戸で、平成14年度現在の加入状況は、加入率75%です。

最近、加入率が増加してきたことに比例して、付近の川が目に見えてきれいになってきました。夏には多くの蛍が姿を見せるようになり、また、清流に棲むと言われる「かじか」の卵が石の裏に産み付けているのも見られました。

川は着実に回復していることを証明しています。河川の流量は、一定の流量がないと生態系に深刻な影響を及ぼし、川自体の浄化能力が落ちると言われます。上流河川の絶対水量を減らさないために上流で使った生活排水は上流で浄化し、川に戻るのが望ましいことです。このことから、当地の農業集排水処理施設は、理想的な位置に設置されている施設であり、この事業を推進したことは、大変よい結果をもたらしていると言えるでしょう。これからは、

さらに地域住民に環境に対する関心を深めてもらい「生活用排水は、川へ絶対に流さない」を目標に、きれいな川に戻そうという意識の輪を広めていくことが大変重要であると思います。

当地区としましては、加入戸数がさらに増え、昔のような清流に蘇ってくれることを願っています。そして、安全な生活用水を確保し、自然を保護し、よい環境を後世に残してゆくためには、箕郷町善地地区のように水源となる上流の地域に、このような処理施設を充実させることが重要であると考えっております。



平成13年度 事業報告 (平成13年4月～平成14年3月)

- 平成13年 4月 ・ 監事会及び監査
- 5月 ・ 代表幹事会及び役員会
- 6月 ・ 研修会並び第11回通常総会(伊香保町)
- 5月～7月 ・ 農業集落排水事業に関する絵画コンクールへの参加(全国)
- 7月 ・ 汚泥の再利用促進計画に関するアンケート調査の実施
- 8月 ・ 生活関係改良普及員及び農業集落排水事業担当者研修会の参加(全国)
- 9月 ・ 全国農業集落排水事業推進協議会第11回通常総会(東京)
- 11月 ・ 現地研修会(福島県白河市、玉川村)
- 12月 ・ 機関誌「くま集排だより」(第6号)38,000部発行
- 平成14年 2月 ・ 全国農業集落排水事業推進協議会第12回通常総会(東京)
- 3月 ・ 役員会



副会長 森川 忠俊 (高崎市協議会代表)

平成14年6月の第12回通常総会で選任されました。



# 絵画コンクール作品介绍

## 絵画コンクールについて

農村地域の環境保全と農業集落排水事業の啓発・普及を目的に、21世紀を担う子供達の視点から環境へのメッセージとして、絵画コンクールを開催したところ、県内の10市町村18小学校から263作品もの応募がありました。審査については、専門知識者による選定後、本協議会役員、群馬県、土地改良連合会の関係者が審査し、各賞を決定しました。



最優秀賞  
こんな川があったらいいな！



中之条町立  
第一小学校  
4年生  
鎌川 千晴さん

テーマ 私の大好きなヤマメ、アユが、素手でつかめる川がほしくてこの絵をかきました。



協議会長賞  
キレイな川



中之条町立  
第五小学校  
4年生  
角田 瑠美さん

テーマ キレイな川にしたかった。



連合会長賞  
夏の田んぼ



伊勢崎市立  
三郷小学校  
6年生  
戸塚 香里さん

テーマ 農村地における水と農業と自然という視点で描きました。水田には、稲と田んぼの間に水が溜まるので、カワセミやトンボが飛んで、豊かな自然と水というテーマで描きました。

氏名	小学校名	学年	題名	テーマ
優秀賞				
谷 こうきくん	館林市立第四小学校	2	水辺の生きものさがし	弟と川でいろいろな生きものをさがしているところ。
川端 洋平くん	伊勢崎市立彌生小学校	2	いっぱいとりたいた	近所の田んぼに、よくとりに行っている生きものをかきました。
知久 由実さん	子持村立長尾小学校	1		友だちとカニを見つけて楽しかったです。
飯島 聡恵さん	館林市立第四小学校	6	豊かな自然と水	私は、田んぼの近くの川も水が深く澄んでいて、ザリガニや魚がいきよよく住みついている。田植えの時期、トンボが飛んで、豊かな自然と水というテーマでかきたかった。
平形 友里香さん	中之条町立第一小学校	4	水と農業	
関 ひかりさん	中之条町立第一小学校	4	農村地域における水と生物	
佳作				
小幡 紗千さん	館林市立第四小学校	2	トンボがたくさん飛ぶ田んぼ	近くの田んぼには、オニヤンマとアキアカネがたくさんいて、友だちとトンボとりをしているところ。
関澤 力くん	館林市立第四小学校	1	ザリガニとカブトムシ	ザリガニが元気すぎる、きれいな水だといいな。カブトがいっぱいいて木がたくさんあるところだよ。
福島 有彩さん	伊勢崎市立三郷小学校	2	八坂用水とカモの親子	私の家の前には八坂用水があります。そのなかにカモのおやこが、およいでいました。川の中には、こいもいました。きもちよさそうにおよいでいました。
鯉淵 このみさん	子持村立長尾小学校	2	水かけあそび	お友だちと楽しく遊びました。
山田 成美さん	子持村立長尾小学校	2		みんなで楽しくあそんでいるところを描きました。
牧 茂明くん	大胡町立大胡小学校	6	農村地域における水と生物	夏休みに家族で行った川をかきました。
内藤 友希さん	前橋市立大室小学校	4	私の家のミニトマト	畑で、ミニトマトを作っているからかきました。
平林 里美さん	中之条町立第一小学校	4	農業と豊かな自然	やさいを育てるおじさんでしたかった。
鷺持 侑那さん	中之条町立第一小学校	4	きれいな自然	魚がつかまるところ。
唐沢 恭平くん	中之条町立第一小学校	4	川で遊ぶ子供たち	子供たちが楽しく遊んでいた、川にすむ生物たちが元気に動きまわっている。

## 家庭での心がけ

農業集落排水処理施設は自然ときれいな水、快適な生活環境をつくるみんなの財産です。大切に使いましょう。また、家庭でのちょっとした心がけて、きれいな川を守る手助けができます。

- ◆ 洗剤を利用するときは無リン洗剤を使う
- ◆ 台所の調理くず・てんぷら油等は流さないようにする
- ◆ 水洗トイレには溶ける紙を使用する
- ◆ 風呂場や洗面所の排水口に髪の毛、糸くず等を流さない



環境保護のために大豆インクを使用しています。



高級再生紙100%再生紙を使用しています。